

『近代仏教スタディーズ—仏教からみたもうひとつの近代—』

大谷栄一、吉永進一、近藤俊太郎編、法蔵館、2016年

岡田 正彦 Masahiko Okada

本書は、近代日本の宗教史、社会史、文化史、思想史、国際交流史といった広範な領域に及ぶ多彩な課題を「近代仏教」というフィルターを通して眺め直し、そこから可視化されてくる新たな研究分野の可能性を模索した極めて挑戦的でパイオニア的な論集である。このため、形式的には入門書のかたちをとっているが、それぞれに扱われているテーマは従来の近代仏教の射程を超えた斬新なものばかりであり、随所に今後の新しい研究の可能性が感じられる。

また、ここで近代日本の全体像を見通す鍵概念の一つとされる「近代仏教」は、「明治仏教」の延長として使用された従来の「近代仏教」という用語とは違って、研究分野を明治維新以後の日本の仏教史に限定するのではなく、むしろ日本の「近代」の分析を「仏教」や「日本」という枠を超えて拡散していくための概念的なツールとして使われている。このため、「近代仏教」は歴史学、宗教学、文学、社会学、文化研究、メディア論といった研究視座が交差する概念場であるとともに、それぞれの研究分野における先行研究を問い直すような、新しい情報や研究課題を産出する源泉としても重要になるのである。

*

さまざまな領域で活躍する、29名の研究者が執筆した本書の執筆項目は、広範な領域をカバーするとともに細分化されている。詳細な目次をすべて紹介するのは煩瑣であるが、下手な解説を加えるよりは各項目の見出しをご覧ください。本書の射程の広さを理解してもらえらる。

はじめに

第1章 「近代仏教」とは何か？

- 第1節 「近代仏教」を定義する
- 第2節 日本の近代仏教の特徴とは？
- 第3節 「仏教の近代化」とは？
- 第4節 「近代化と仏教」の関係とは？

第2章 近代日本の仏教史をたどる

- 第1節 近代の衝撃と仏教の再編—幕末・維新期
- 第2節 新しい仏教のはじまり—明治期
- 第3節 社会活動の展開—大正期
- 第4節 戦争協力への道—昭和前期

第3章 よくわかる近代仏教の世界

- 第1節 グローバルに展開する
 - 1 世界中の宗教者が集まった万国宗教会議
 - 2 海外布教する仏教教団
 - 3 世界を探検する仏教者たち
 - 4 来日した海外仏教者たち
 - 5 仏教交流の場としてのアジア
 - 6 欧米の仏教ブームとアジアの社会参加仏教
- 第2節 学問と大学のなかで発展する
 - 1 仏教学はどのように成立したのか？
 - 2 僧侶を育てる大学へ
 - 3 京都学派のとらえた仏教
- 第3節 メディアを活用する
 - 1 新しいメディアが仏教を変えた！
 - 2 京都と東京の仏教書出版社
 - 3 ラジオ説教の時代
- 第4節 社会問題に対応する
 - 1 社会事業に取り組む仏教者たち
 - 2 部落解放と真宗信仰

3 教誨師の百年

- 第5節 イデオロギーと結びつく
 - 1 修養と教養を発信する仏教界
 - 2 戦場のなかの禪
 - 3 超国家主義にみる仏教
- 第6節 新しい方法で実践する
 - 1 グローバル化する仏教瞑想
 - 2 坐法と呼吸法のブーム
 - 3 儀礼の伝統と新しい儀礼
 - 4 近代化する葬儀

第7節 他宗教と関係する

- 1 キリスト教と出会った仏教
- 2 ユニテリアンの与えたインパクト
- 3 反宗教運動との衝突、新興類似宗教への批判
- 4 戦没者を祭祀する

第4章 近代仏教ナビゲーション

第1節 初心者のための人脈相関図

- 1 西本願寺系—禁酒から改革、そして国際化へ
- 2 浩々洞一師、清沢満之との生活
- 3 求道学舎—浄土真宗説教師・近角常観の舞台
- 4 新仏教運動—体制批判した青年仏教徒たち
- 5 国柱会—一世を風靡した日蓮主義のネットワーク
- 6 ユニテリアン—近代仏教と深いつながりのキリスト教
- 7 明治二〇年代の海外仏教者たち—オカルトワールドと仏教
- 8 大正～昭和初期の海外仏教者たち—鈴木大拙夫妻と神智学
- 9 哲学館系—明治の新仏教運動の一大拠点
- 10 東京帝国大学系—仏教学の誕生
- 11 京都帝国大学系—歴史学・民俗学での展開
- 12 女性仏教者—信仰に生きた姿

第2節 初心者のためのブックガイド

- 1 近代宗教史研究の必読文献—入口はどこにある？
- 2 近代仏教研究の必読文献1—定番といえどもこれだ！
- 3 近代仏教研究の必読文献2—これからどこへ向かうのか？
- 4 トランスナショナルな近代仏教史—国境を越える！
- 5 精神主義の研究—浩々洞同人たちの信仰
- 6 新仏教運動の研究—社会主義者から芸術家まで
- 7 近代真宗史の研究—近代仏教研究の中心軸
- 8 近代法華・日蓮系の研究—その幅広い影響をつかむ
- 9 禪のグローバル化—禪がZENになるとは？
- 10 仏教学の形成と展開—大学と仏教の結びつき
- 11 近代仏教と戦争—仏教は戦争を肯定したのか？
- 12 日本仏教と植民地主義—仏教は植民地で何をしたのか？
- 13 近代仏教と社会活動—医療・福祉・差別
- 14 近代仏教と民俗—生活のなかの仏教
- 15 近代仏教とキリスト教—排斥と対話
- 16 近代仏教とジェンダー—女性と家庭
- 17 法華系新宗教の研究—法華信仰の伝統と革新
- 18 近代仏教の写真集—撮られた民間の信仰世界

第3節 初心者のためのリサーチマップ

- 1 図書館とアーカイブ—学びと調査のスタートライン
- 2 博物館—近代の仏教者の足跡をたずねて
- 3 建築物—モダンな仏教のモダンな建物

本書が網羅している、これらの多彩な「近代仏教」の「スタディーズ（諸研究）」は、その多くが未開拓の研究分野や新しい研究テーマである。本書の刊行に刺激を受けて、これから各方面において、新たな研究が展開されていくことを期待したい。

